令和４年６月１４日

公益財団法人東京都歴史文化財団
アーツカウンシル東京

アーツカウンシル東京
令和 4(2022)年度 第 1 回 スタートアップ助成
対象事業決定のお知らせ

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、東京の芸術文化の魅力を向上させ、世界に発信していく創造活動や、地域の文化や伝統芸能の振興、社会や都市の様々な課題に取り組む芸術活動を支援しています。

このたび、令和 4(2022)年度 第 1 回 スタートアップ助成の対象事業を決定いたしました。

今回は、203 件の申請があり、**38 件を採択**いたしました(採択率 18.7%)。**助成予定総額 23,174 千円**です。

■ 令和 4(2022)年度 第 1 回 スタートアップ助成 申請・採択件数

	申請件数		採択件数	
	個人	団体	個人	団体
音楽	24	34	3	7
演劇	12	17	4	3
舞踊	9	11	2	4
美術・映像	33	24	5	3
伝統芸能	8	4	4	0
複合	15	12	2	1
合計	101	102	20	18

・対象期間 :2022 年 7 月 1 日以降に開始し、2023 年 3 月 31 日までに終了する事業

■ 令和 4(2022)年度 第 1 回 スタートアップ助成 採択事業 一覧

申請 203 件、採択 38 件 **(単位:千円)**

活動分野	活動内容	実施場所	団体／個人	申請者名	事業名	助成金交付決定額
音楽	都内での芸術創造活動	都内	団体	民謡こでらんに～	日本×エチオピア 民謡交換プロジェクト（仮）	1,000
				Cabinet of Curiosities	Cabinet of Curiosities 2022 New Musical Atlas（仮）	1,000
				金管 6 重奏「ゼクサス」	金管 6 重奏「ゼクサス」第 2 回コンサート～金管六重奏の多様性～	900
				Scholas Aquarius	Scholas Aquarius 2nd concert(仮)	1,000
				PALETTE Percussion Quartet 実行委員会	PALETTE Percussion Quartet 《打楽器四重奏の世界Vol.2》	992
				Register Trio	Register Trio Vol.3 （仮）	707
			個人	鈴木瑛子	Eclipse 初公演（仮）	300
				黒田崇宏	Square of Thoughts Vol. 1 “Crossing in Austria” (仮)	207
				山本弥香	Yugentrio 日本ツアーコンサート 東京公演	300
	国際的な芸術交流活動	都内および海外	団体	nagalu	nagalu presents EAST MEETS EAST 2023（仮）	1,000

活動分野	活動内容	実施場所	団体／個人	申請者名	事業名	助成金交付決定額
演劇	都内での芸術創造活動	都内	団体	劇団身体ゲンゴロウ	劇団身体ゲンゴロウ第6回公演「黄金の国より」	1,000
				Dr. Holiday Laboratory	脱獄計画（仮）	1,000
				幻視譚	幻視譚第二回公演『白煙(仮)』	975
			個人	廻トヲテツ	個展・展示期間中の朗読劇の上演（仮）	300
				百音	百音企画「ラブ・ワールド」	300
				画餅	画餅　第二回公演（仮）	300
	国際的な芸術交流活動	海外	個人	石井順也	（仮）現代劇　interloper（侵入者）	300
舞踊	都内での芸術創造活動	都内	団体	W/ union	W/ union初単独公演『未来的アナローギュ』	1,000
			個人	石原一樹	コンテンポラリーダンス公演『月と若者』 アンデルセン「絵のない絵本」より	300
				碓井菜央	ソロパフォーマンス　『入口　出口inout？(仮)』	300
	国際的な芸術交流活動	海外	団体	PEGAMENTO	『There is no way to understand』　渡辺はるかダンスパフォーマンス＆ワークショップ　in イスラエル（仮）	1,000
				Hyper Ambient Club	71 highly chus + hacking and sharing body accountsのベルリンでのリサーチとパフォーマンス	1,000
				舞踏石井組	舞踏石井組2022年フランスツアー（仮）	895
美術・映像	都内での芸術創造活動	都内	団体	部屋	「ニュータウンと共同体」展	1,000
				合同会社WEMON PROJECTS	Daily Life and Arts project (仮)	990
				ストレンジャーによろしく実行委員会	ときめき絵画道2023展覧会実施	1,000
			個人	眞鍋美祈	インタラクティブアート「Worldwide StRhyme(仮)」の展示	300
				羅絲佳	短編アニメーション『小大（Little biggie ）』（仮）の制作	300
				太田光海	短編映画『Terra Cognita』制作および作品上映	300
				山口塁	DELIVERY DRAWING PROJECT	300
				大原崇嘉	Para Reality(仮)	300
伝統芸能	都内での芸術創造活動	都内	個人	福田恭子	箏×書～ことのはを紡ぐ～（仮）	300
				安嶋三保子	安嶋三保子　第一回　箏 ソロリサイタル（仮）	284
				藤舎花帆	第1回　藤舎花帆リサイタル（仮）	300
				岡本はる奈	フランス語と日本語による能楽公演・流儀の独自性の美（仮）	300

活動分野	活動内容	実施場所	団体／個人	申請者名	事業名	助成金交付決定額
複合	都内での芸術創造活動	都内	団体	いしのうら運営委員会	いしのうら vol,2（仮）	825
			個人	後閑綾香	後閑綾香　作曲個展「身体　（演奏者⇄ダンサー）　～バロックダンスとコンテンポラリーダンスの交差～」（仮）	300
				手塚美楽	60歳まで友だちでいる方法（仮）	299

■　令和 4（2022）年度 第 1 回 スタートアップ助成　採択結果の概況

スタートアップ助成は令和 3 年度に新設された助成プログラムで、2 年目に入った令和 4 年度第 1 回の本公募では 203 件の申請がありました。令和 3 年度は 3 回の公募を実施しましたが、その中で不採択となった事業の再申請が 2 割程度あり、申請内容がブラッシュアップされ、採択に至ったものも複数ありました。一方、申請者と主催者が異なっている、対象経費とならない経費が記載されている、事業の開始、終了が対象期間内になっていない等の書類の不備が散見されました。申請書の作成にあたっては、公募ガイドラインの申請要件等を事前に確認していただきますようお願いします。本助成では、都内での事業を初めて企画・主催する新進の個人・団体によるトライアルの事業、過去数回の実績を経て企画内容やキャリアの拡充を図るステップアップの事業、さらに、個人として実力を認められている芸術家が団体を結成し、新たな企画やプロデュースに着手する事業など、積極的なチャレンジを行う事業が採択となっています。また、事業の目指すべき目的が明確であり、それを実際にどのように具体化するのかが示されており、実現にあたっての予算やスケジュールが適切に計画されているものが採択となっています。一方、事業の目的と事業内容が適合していないものや、出演者やプログラム内容に未定要素が多く事業の具体性に欠ける申請は、採択には至りませんでした。不採択となった事業を再度申請することも可能です。令和 4 年度は 4 回の公募を予定しています。具体的に計画の練られた意欲的な申請に期待します。

● 音楽分野

音楽分野への申請の中心は昨年に引き続き、クラシック・現代音楽に関する企画となっており、今回も申請数全体の半数を占める結果となりました。一方でジャズやワールドミュージック、ポップスといった、クラシック以外の音楽シーンに展開する意欲的な申請が増えたこと、さらにはジャンルミクスチャーのプログラミングも増加傾向にあるといえます。採択となった申請案件においては、日程や実施会場、プログラムの内容が決定済、出演者がブッキング済と、申請段階において既に事業の実施が確定的である点が共通していました。また事業の実施を通して、芸術音楽分野およびその周辺領域に対しどのような好影響を発揮しうるのかという点について具体的な言及がなされていた点も、採択事業の申請書において共通して見られた特徴です。

● 演劇分野

20 代と 30 代からの申請が全体の 6 割となり昨年に比べ若干減少傾向ですが、20 代前半の在学中の学生からの申請が増えるなど年代層は広がりました。また全体の 3 分の 2 が初申請となるなど、新たな層からの申請があったのも特徴的です。小劇場演劇を中心に、ミュージカルや音楽劇、朗読劇など幅広い申請がありました。採択事業に共通しているのは、事業の具体的内容と目的が一致しており自身の言葉で企画趣旨や狙いを表現できていることです。独自の演出手法や表現方法にチャレンジする意欲的な取り組みや、俳優がプロデューサーなどに挑戦する新たなプロジェクトで実現性や将来性が認められる企画が採択に至りました。また作品や公演の具体性が乏しく、出演、予算、計画等が不明瞭で実現性に欠ける企画は採択には至りませんでした。

● 舞踊分野

申請者は 20 代から 30 代が中心で、ジャンルとしてはコンテンポラリーダンス、ストリートダンス、大道芸、舞踏、バレエ、民族舞踊、マジック等の幅広い申請がありました。「国際的な芸術交流活動」の占める割合が昨年度より増加し、コロナ禍においても海外の事業が動いている状況がうかがえます。独自の観点から企画が立てられ、計画の具体性と実施の意義を明確に示している申請が採択となっています。アイデアは斬新なものの実現するための手法に更なる工夫が必要なものは採択には至りませんでした。事業実施のプロセスを具体的に見通し、計画を練り直しての再チャレンジを期待します。また、予算書や企画書等の不足等、書類不備の申請が目立ちました。公募ガイドラインや申請書

のフォーマットは毎回更新されていますので、同じ企画を再度申請する場合も最新の公募ガイドライン及び申請書類を確認するようにしてください。

● 美術・映像分野

いわゆる若手作家の個展にとどまらず、グループで培った知見をソロ活動において踏み出していく挑戦をはじめ、申請者の経験を背景とした、説得力のある具体的なチャレンジをしていくものが採択されました。他方、助成対象外となる作品販売や販促活動が含まれていたり、企画書を添付していないもの、また団体での申請の場合に申請団体自身の過去の実績を提出すべきところ、団体構成員個人の実績や法人化以前の前身団体の実績しか提出されていないものなど、書類不備が目立ちました。また、申請者自身の「新たな芸術創造活動」として挑戦するポイントが見えにくいものや、事業スケジュール等の計画の見通しが十分でないもの、また研鑽・リサーチにとどまる活動は不採択となっています。なお、当助成の趣旨および審査の観点には「社会・地域への貢献」や「創造環境整備への貢献」は含まれておりませんのでご留意ください。

● 伝統芸能分野

能楽、長唄、箏曲、日本舞踊、創作邦楽等、多様な種目に及ぶ 12 件の申請がありました。申請者の約 8 割が、伝統芸能で若手と呼ばれる 30 代・40 代でした。この世代が中心となった申請事業で、活動に継続性があり、計画の実現性が高いものが採択に至っています。また、新しいことを始めようという若手の意識を企画に反映した事業や、他分野とのコラボレーション等、挑戦的な事業も複数採択しています。一方、外的評価の確立された中堅層の演者による継続的な事業や、伝統芸能のファンや支援者による普及活動の要素が強い事業については本助成の趣旨に適さないため、採択には至りませんでした。

● 複合分野

「核となる分野を特定できない芸術活動」を対象とする複合分野には 27 件の申請がありました。申請者は個人が団体より多く、申請内容は多岐にわたっています。複数領域のアーティストによる協働でジャンルの枠を超えた新たな創作を行うコラボレーション企画、音楽と舞踊のコラボレーションを契機とし、音楽領域の新たな可能性を問う事業などが採択されました。

■ 審査プロセス

以下の審査プロセスによって、採択を決定しています。

提出された申請書類をアーツカウンシル東京が精査し、事前調査や外部有識者の意見を踏まえて助成課長が評価案及び採択原案を取りまとめます。その後、アーツカウンシル東京機構長の審議を経て、公益財団法人東京都歴史文化財団が決定します。

令和 4（2022）年度 第 2 回 スタートアップ助成の申請受付期間は 2022 年 7 月 7 日（木）～7 月 21 日（木）消印有効です。現在、公募ガイドラインを公開しています。
申請書類は 7 月 7 日（木）よりダウンロードできます。詳細は下記ウェブサイトをご覧ください。
https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/what-we-do/support/grants/startup-grant-program/53133/

＜本事業に関するお問い合わせ＞
公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部 助成課 担当：玉虫、井上
TEL：03-6256-8431　E-mail：startup@artscouncil-tokyo.jp

＜本リリースに関するお問い合わせ＞
公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京　広報担当：糸園、圓城寺
TEL：03-6256-8432　E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp